

神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会の開催延期について

令和 3 (2021) 年 9 月 17 日から 26 日に開催予定の「神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会」に関しましては、東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が 2021 年 8 月 24 日から 9 月 5 日に延期されたことを受け、大会主催者である国際パラリンピック委員会 (IPC) 並びに世界パラ陸上競技連盟 (WPA) との間で大会の延期について協議し、令和 4 (2022) 年 8 月 26 日から 9 月 4 日に開催することで合意されました。

なお、競技会場、参加人数に変更はありません。

神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員長 会長コメント

世界パラ陸上競技連盟 (WPA) 代表のコメントは以下のとおりです。

令和 2 年 4 月 30 日

神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会の延期に寄せて

このたび神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会は、東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が 2021 年に延期されたことを受け、国際パラリンピック委員会 (IPC) 及び世界パラ陸上競技連盟 (WPA) と協議し、神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会の開催を 2022 年に延期することで合意しました。

この決定は、パラリンピック競技大会と世界パラ陸上競技選手権大会との日程的な競合を避け、各国選手が最良のコンディションで参加できるように考慮したものです。

第 10 回の節目となる神戸での大会が、パラリンピックムーブメントを継承し、選手や観客の皆様がわくわくして盛り上がる大会となるように、IPC/WPA をはじめ関係機関・団体と協力して、準備に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

神戸 2021 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会 会長 増田 明美

世界パラ陸上競技連盟 ハオジェ・ガオ代表 コメント

東京 2020 パラリンピック競技大会の延期発表を受けてから、神戸の組織委員会とともに調整を進め、新たな開催日程を検討してきた。かつてない状況のもと、決して容易な調整ではなかったが、神戸市、組織委員会並びに全てのパートナー及び関係者のご支援とご協力に感謝したい。

神戸 2022 は、東京パラリンピック競技大会後に日本で開催される最初の大規模パラスポーツ大会であり、東京パラリンピック競技大会のレガシーを受け継ぐものとなる。この新しい開催日程により、選手の方々は十分な準備ができ、今後の大会を見据えた、極めてレベルの高い大会になるものと確信している。